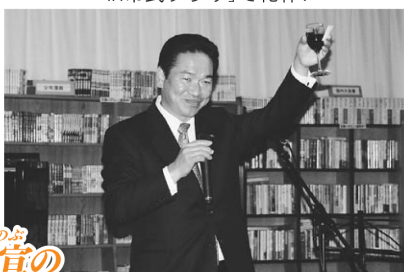


市長の窓

「ボジョレーヌーボー&JAZZライブ
in市民プラザ」で乾杯!



しげのぶ
滋宣の

ぼうちゅう かん あんちゅう めい
“忙中、閑あり。暗中、明あり。”

～その8～

～ 曹源一滴水(そうげんのいってきすい) ～

"一滴の水"が山から流れると、そこに小川を作り、大河となって、やがて天下を潤します。

日本にあるたくさんの「禅」の宗派をたどると、中国・曹溪の上流に住んだ「慧能禅師」にたどり着きます。この川の源流を"曹源"ということから、今日ここまで広く繁栄した"慧能の仏法"を「曹源一滴水」といいます。

たった一滴の水が大河となっていくさまは、たった一人の禅僧の説法が、弟子から弟子へと伝承され、やがては世界に伝わり、人々を救済するさまと重なります。

一滴の水を大切に。

一滴だからと粗末にせず、一滴だからといじけることなく。

その一滴は、大海の源流になるかもしれないのです。森の樹木を救うかもしれないのです。

"一滴水"にはとてつもない可能性があります。

人間一人には、とてつもない可能性があるのです。

能代市長 齊 藤 滋 宣